

第6章 施設園芸作業(1)

1	雨よけハウスとはどのようなハウスで、どのような効果があるか教えてください。	
答え	屋根部分のみフィルムでおおうプラスチックハウス。 雨が直接作物にかからないため、病気・外虫の予防、裂果の防止に効果がある。	P83
2	農ビフィルムの利点と欠点を教えてください。	
答え	利点 柔軟性、弾力性、保温性が高く、防曇、防滴、紫外線カットなどの機能が付加しやすい。 欠点 重くべたつき、汚れが付着しやすいため、資材の透明度が低下しやすく、破れやすい。	P85
3	農ビフィルムの張替え時期を教えてください。	
答え	1～3年で張り替える	P86
4	無加温ハウスとはどのような方法ですか。また、どのような作物に適していますか。合せて利点も教えてください。	
答え	暖房機を使わない方法。低温に強い作物に適している。	P87
5	化学農薬を使わない病虫害防除の方法としてどのようなものがあるか教えてください。	
答え	着色粘着テープの使用、防虫照明装置の使用	P88
6	施設栽培では、どのような環境を調整できますか。	
答え	地上(気温、湿度、光など)の環境と 地下(地温、土壌、水分、養分濃度など)の環境を調整できる。	P88
7	環境管理として湿度を下げ、結露やモヤを防ぐにはどのようなことをする必要がありますか。	
答え	加温したり、内張カーテンの短時間開放による換気が必要。	P90

第6章 施設園芸作業(2)

8	作物の生育状態を知るには、どのようなことを観察すればよいですか。	
答え	葉の数、節と節の間隔、草丈、葉の色などを観察します。	P91
9	健康ではない苗の特徴について教えてください。	
答え	・徒長している ・葉や茎に病斑や食害痕がある ・葉脈間が黄色くなっている ・子葉が取れている ・葉や茎が老化する	P92
10	養液栽培の特徴について教えてください。	
答え	・土から感染する病気の発生が少ない ・土づくり、かん水、除草作業を省ける ・肥料のむだがない ・培養液を循環させる方式と、かけ流しの非循環式がある ・連作障害がない ・監理が自動化しやすい ・設備の建設費用がかかる	P93
答え	加温したり、内張カーテンの短時間開放による換気が必要。	P90